



夢てゝや露香中月の桂柳 清楓
 樹中の香をゆふさか月元々 圖龍
 ささるゝ一帯の体め鬼細 何未
 名日や木賊を分る玉兔 学儀
 り中の日波の隈れをわたり 亀史
 種入きく一浪の田毎や月音 徒童
 今宵こそ我眼も志まよ月の香 永布
 めし日や静よ海る懐胎舟 杜月
 酔さめのつゝ香ありし中月 白我
 名日如鏡ニツのありし新 花園
 光い日や下枝動く氷の上 其水
 名日や舞うまゝの代母衣 露園
 細船の意を運りし中月 省机
 月今宵何の程もく心極か 思補
 空の果海の果えんり中月 湖山
 きさの月更てふさ白ひりり 雀翁
 若月や星皆落ちて中月の香 寛時
 満げや月只一ツ和甲の系 團月
 待宵や十分盃れよい飛り 北翠
良衣眼か
 ねのゝろれ鳥や月こよひ 黙水
 等五てこれゝあたりし中月 樵舎
 推のよれ水はあまむり中月 徒言
 新日や上作もあつてにわし 白浮
 日や今宵明月陽の大一産 豊徒
 名日やまけしゝ空も月の御 湖舟
 山姥や夜よ月の香あり 秀園
 夢り遠く空ありし中月 如水

